

2009年12月CSNは、このたび熊谷流通センター（通称：ソシオ熊谷）よりBCP策定支援業務を受託しました。熊谷流通センターは、昭和50年に開設された日本でもトップクラスの規模の卸商業団地です。ここでは、以前から「日本一安全な卸団地」をめざして様々な取組がなされてきました。今般、CSNが受託したのは「BCP組合用基本計画策定およびBCP個別企業モデル」事業でこの他「セーフティシティ構想策定」、「耐震診断」、「防災マップ及び安否確認システム基本設計」等の大震災を想定した総合対策が、全国中小企業団体中央会が公募した「平成21年度卸商業団地機能向上支援事業」に採択され、2010年2月まで実施されます。このような事業を大型卸団地で取り組んだ事例はなく、今後大きく注目を浴びることが予想されます。